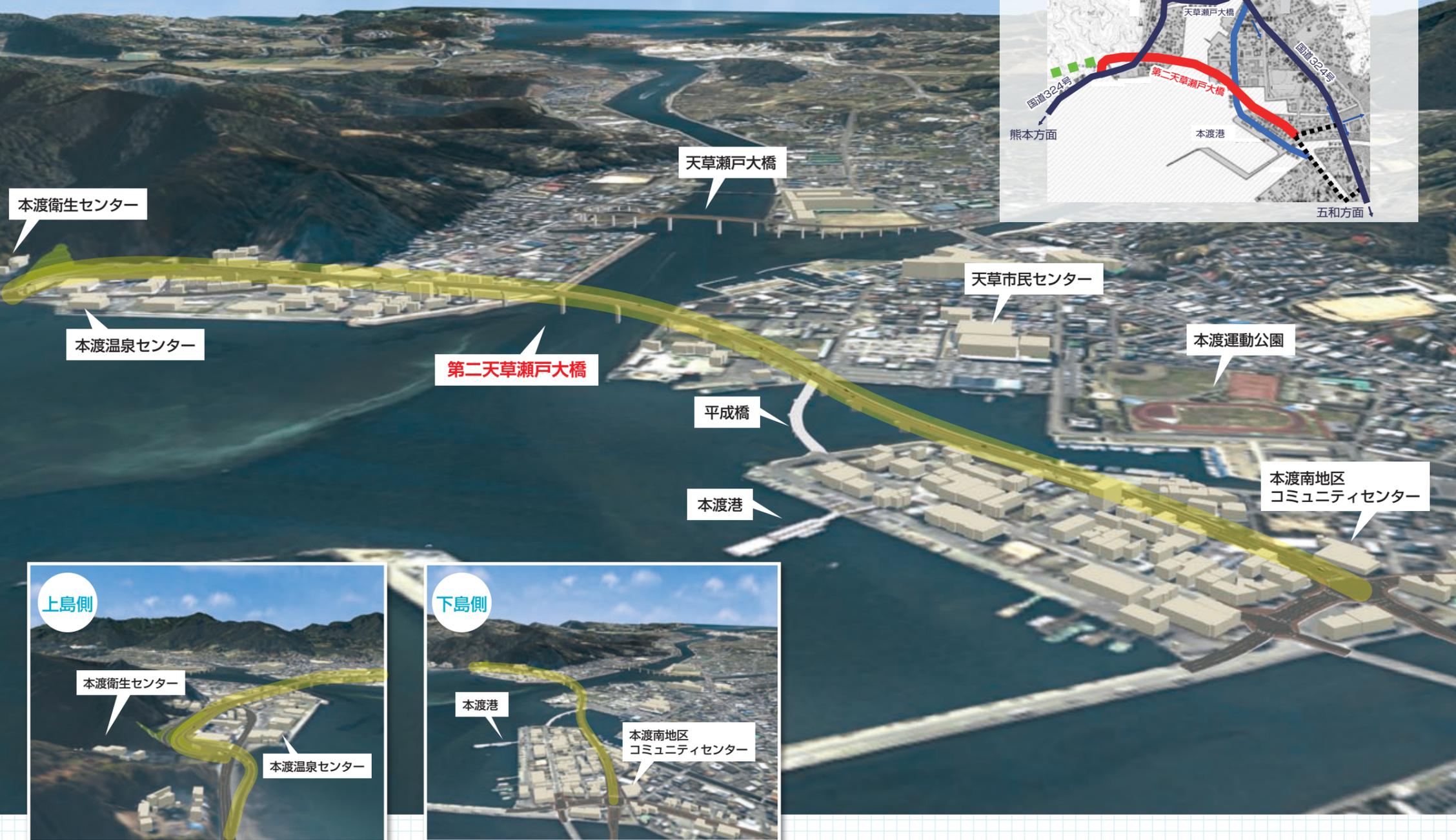


(仮称)第二天草瀬戸大橋の完成イメージ図



県では、熊本天草幹線道路・本渡道路のうち、(仮称)第二天草瀬戸大橋を含む区間が国の補助事業の採択があったことを受けて、5月から同区間の整備事業に着手しました。今号では、今回採択を受けた同道路の概要などについてお知らせします。なお、詳しいことは、県天草地域振興局・工務第一課②4640へお尋ねください。

10年後の完成を目ざして

(仮称)第二天草瀬戸大橋整備事業に着手

総事業費は約123億円

県の整備計画によると、第二天草瀬戸大橋は現在の天草瀬戸大橋の北側約400メートルの位置に建設。上島側の本渡衛生センター付近(志柿町)と、下島側の本渡南地区コミュニティセンター付近(港町)を結ぶ本線約1・3キロメートルで、幅員9・5メートルの片側1車線の道路になります。総事業費は約123億円を見込んでおり、10年後の完成を目ざしています。

交通渋滞の解消に期待。事故・災害時の代替道路としても重要な役割

天草瀬戸大橋は1日に約3万台の交通量があり(日22交通センサス)、上島側の国道324号と同一266号の合流点では、2キロメートル以上の交通渋滞が発生しているほか、平日の朝夕は下島側も交通渋滞が発生しています。第二天草瀬戸大橋が完成することで、通行車両の分散が見込まれることから、交通渋滞の解消に期待できます。

また、事故や災害時の代替道路の確保の面でも、重要な役割を果たすことが期待できます。

今年度は測量・地質調査・設計作業を実施

今年度の事業費は1億円で、計画地の地形や建物の形状について調査・測量を行うほか、地質調査が予定されています。